

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第136号(2015.03.19 発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までご連絡ください。

【過去の CP 通信をご覧ください】:[http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp\\_magazine.html](http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp_magazine.html)

【お知らせ】

〈2015 年度 全学期 受講生募集中〉

キャリアアップ・プログラム と カルチャー講座

【目次】

- ・巻頭言……………広島経済大学 経済学部  
経済学科 教授 増原 義剛
- ・2015 年(次年度)1 学期 CP 授業計画(シラバス)のご紹介
  - 木曜日開講 『国際経済学入門』…エントリー科目
  - 『まるごとわかる！法人税』…エントリー科目
- ・平成 26 年度学位記授与式が挙行されました
- ・経大見聞録
- ・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております
- ・キャリアアップ・プログラムに関する、ご質問やお問い合わせは

---

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

経済学科 教授

増原 義剛

3 学期 CP 講師『日本の財政破綻と金融政策』

あれから 2 年

昨年の「巻頭言」では、大胆な金融緩和、機動的な財政出動、成長戦略という「アベノミクス」の三本の矢について私の意見を述べましたが、その後の一年でどのような変化が生じたのか見てみたいと思います。まず、その時、あまり期待され

なかった「成長戦略」では、TPP 交渉がある程度進捗していることや JA 改革も緒についてきたことなどの変化が見られます。一方で、例によっていろいろな「特区」を作りこれを起爆剤にしようといういつもの手を繰り返しています。これでは「地方創生」はやや迫力不足でしょう。いずれにしても「やる気のある地方を重視」ということですから、地方、地域により優勝劣敗が生じることは、避けて通れないでしょう。次に、「機動的な財政出動」ですが、昨年 4 月の消費税率引き上げによる景気の腰折れを防ぐため、前年度の 5.5 兆円の補正予算に続いて今年度も 3 兆円余の補正予算を組みました。いずれも景気回復による法人税等の増収等を財源としているからよしとするこれまでの自民党政権がとってきた手法と全く同じです。財政健全化のスピード感に欠け、日本の経済は多額の国の借金に支えられ続けているというなお「異常な経済」と言ってよいと思います。そして、大胆な金融緩和政策ですが、原油価格の大幅な下落もあり物価上昇率 2% に向けての道筋がやや怪しくなっています。「円安による輸入物価の上昇」から「実体経済の需給による物価上昇」へが問われてきています。人手不足や昨年の春闘に続き今年もベースアップがある程度進み「好ましい循環」に入りつつあるとも言えますが、これが将来に向けて持続可能か否かということでしょう。

そうした中でいくつか気になる点があります。まず「大胆な金融緩和政策」ですが、「2%の物価上昇」を実現するためには、「消費税率のアップ」による一時的な「物価水準の上昇」では意味がないし、更なる「円安」誘導による輸入物価の上昇ではもはや経済には弊害の方が大きいと思います。そもそも「2%」の根拠は何か。主要先進国が「2%」前後を目標にしているからということだけでは、経済社会情勢に差異がある以上やや根拠に乏しいと思われる。更に世界的にデフスインフレが進みつつあり新興諸国においても金融緩和政策がとられ始めています。要はデフレマインドから脱却できれば良いわけで、ここらあたりでもう一度原点に帰ってみる必要があるのではないかと思います。日本銀行の資産は今や 300 兆円を超え、うち長期国債が 200 兆円以上にもなっています。一方、債券市場、とりわけ長期金融市場に異変が生じつつあるように見受けられます。長期金利のやや大きな変動がたびたび見られるようになっています。現在は体温計に量的緩和という氷をあてているようなもので、市場参加者が、これでは実質的な「国債の日銀引受け」であるという認識に至れば、国債市場は急変し「国債価格の下落」、「金利の急騰」が生じる危険があります。その意味からも「異次元の金融緩和措置」の出口論をそろそろ考えなくてはならない時期にきていると思います。

次に、今年の 10 月からの消費税率の再引き上げを 1 年半延期することとされました。消費増税による消費の低迷など、勘案すべき事情はいろいろあったと思いますが、それでは 2016 年度の予算はどうなるのでしょうか。景気回復による自然増収等で基礎的財政収支の赤字約 14 兆円を更に縮減できるのでしょうか。2020 年に更にその赤字をゼロにすることができのでしょうか。現在の安倍政権は、その点については明言を避けています。消費税率の再引き上げに賛成した野党からも追及はありません。但し、経済財政諮問会議の民間委員有志からは、今後毎年 2,4 兆円ずつ赤字額を削減するよう提言はされていますが……。どう考えても、私からは「財政健全化」のスピード感の欠如としてしか思えません。

なお、昨年かなり心配しておりました日本の国際収支の変化のことですが、拡大する一方の貿易収支の赤字は、原油価格の急落で何とか一息ついたかと思われる。輸出も数量ベースでやや増加し始めています。しかし、我が国の製造業の海外展開はなお続くでしょう。また、エネルギー政策も未だ定まっておられません。サービス収支や所得収支も含めた「経常収支」の行方は、これからも慎重に見守って行く必要がありそうです。

---

■ 2015 年(次年度)1 学期 キャリアアップ・プログラム(CP)授業計画(シラバス)をご紹介します。

- 木曜日開講 『国際経済学入門』…エントリー科目
- 『まるごとわかる！法人税』…エントリー科目
- 毎週木曜日(5/21,5/28,6/4,6/11,6/18,6/25…計 6 回)

科目名		国際経済学入門
担当者		野北 晴子(のきた はるこ)
副題		「国際経済学」の基礎を学んで、ライバルに差をつけたいあなたのために
対象者		「国際経済学」の基本理論を学びたい方、日本経済新聞の経済記事を読み解くために必要な知識を得たい方、国際金融関連のベーシック科目、ステップアップ科目に進みたい方
到達目標		経済記事やテレビの経済ニュースを体系的に捉えることができる。複雑な国際経済の諸問題に対して、経済学的な視点を持つ。
概要		第1回目から第3回目までは、国際経済学の基本となる国際収支と貿易について学びます。第4回ではそれをもとに、アジア通貨危機とリーマン・ショックという歴史的イベントについて分析します。第5回、第6回は日本経済に目を向けて、グローバル時代の日本経済の問題と政策について考えていきたいと思います。
授業内容	第1回	国際収支と決済問題
	第2回	貿易の理論とその考え方
	第3回	外国為替制度の問題
	第4回	ケーススタディ～アジア通貨危機とリーマン・ショック
	第5回	空港と港湾～日本パッシング
	第6回	グローバル化と日本経済
授業の形式		座学
授業の進め方		図やグラフを使って、視覚的に捉えられるようにしたいと考えています。座学中心ですが、受講者からの質問による双方向授業を目指します。
教材費などの追加負担		教材の負担はありません。配布資料を準備します。
受講者へのメッセージ		日本国内経済の問題であっても、現在は国際経済問題とほとんど重なります。経済のグローバル化は、大きなビジネスチャンスを生む一方で、各国の風土や伝統文化、それに根差す考え方や制度を無視した方向に力が働きます。そのことも合わせて、授業の中で考えていきたいと思います。
講師紹介(自己紹介)		野北 晴子(経済学部 経済学科教授 経済学修士) 佐賀県生まれ。1986年佐賀大学経済学部卒業、89年広島経済大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了、1993年同大学院経済学研究科博士課程後期満期退学、90年広島経済大学助手、94年講師、01年助教授を経て、07年より現職。現在の研究テーマは、ASEAN諸国における日本企業の動向と日本経済。

科目名		まるごとわかる！法人税
担当者		一橋 信之(ひとつばし・のぶゆき)
副題		法人税がわかって財務や経営問題がスイスイ理解できるようになりたいあなたのために
対象者		いままでに興味はあったが学ぶ機会がなく、法人税を知らないできた人。財務や経営をより深く理解するために法人税をわかってみたい人。そんな人を対象にしています。法人税を知らないで企業人をやっていることほど無謀なことはありません。法人税を知ると企業人としてのいままでの会社生活が変わります！企業人として一皮むけたい人のための講座です。
到達目標		目標は3つです。まず、簡単な会社の法人税の申告書が書けるようになること、さらに、簡単な節税方法を理解すること、そして、会社の決算書を法人税から見るができるようになることです。節税方法を理解すれば日々の業務に活用できますし、同じ決算書でも、法人税を理解しているとそれまで見えなかったいろんなことが見えてきます。
概要		同じ取引を行っても企業会計と法人税は異なる捉え方をします。法人税が企業会計とどのように異なるのかを理解し、その計算方法について学ぶのが法人税の勉強です。しかし、単に税額計算を覚えるだけでなく、節税するにはどのような対策があるか、企業分析をするために法人税がどのように役に立つか、というようなより実践的な勉強をしたいと思います。計算演習が多く出てきますが、数字により明確に答えが出てきますので、これもまた楽しいものです。
授業内容	第1回	(1) 法人税と決算書の関係を勉強する(決算調整・申告調整とは何か)
	第2回	(2) 益金を勉強する(営業収益、営業外収益、特別利益項目の税務)
	第3回	(3) 損金を勉強する(営業費用、営業外費用、特別損失項目の税務)
	第4回	(4) 資産の取扱いを勉強する
	第5回	(5) 圧縮記帳・各種引当金・準備金・欠損金の税務を勉強する
	第6回	(6) 法人税の申告書を書いてみよう
	第5回	(7) 法人税額の謎解きに挑戦しよう(この2つの会社、同じ利益額なのに法人税がどうしてこんなに違うの?)
	第6回	(8) M&Aを理解してしまおう(合併・買収のとき税金はどうなるの?)
		(9) 連結納税や国際税務も覗いてみよう
授業の形式		座学
授業の進め方		毎回オリジナルのレジュメ(講義資料)を配付します。講義は、パワーポイントとレジュメで行い、適宜計算演習をしながら理解を深めます。
教材費などの追加負担		教材費の負担はありません。 ただし、毎週電卓(8桁以上)を持ってきてください。
受講者へのメッセージ		法人税は企業会計を前提としていますから、通常は簿記や会計の知識が必要になりますが、この講義ではそういう知識がない人にも対応します。予備知識を前提としていませんので、法人税に興味がありこの機会に分かりたいという人に多く集まっていただき、楽しく勉強したいと思います。
講師紹介(自己紹介)		一橋 信之(経済学部 経済学科 教授) 広島市出身。一橋大学経済学部卒業後、損害保険会社の財務部に勤務し、企業融資や資産運用業務を担当した後退職し、広島市で税理士事務所を設立。その後広島経済大学大学院経済学研究科博士課程を修了後、広島経済大学に勤務し(2013年より教授)、学部および大学院で財政学や税法を担当。

■平成 26 年度学位記授与式が挙行されました

【日時】 3月18日水曜日午前10時より

【場所】 上野学園ホール(広島県立文化芸術ホール)

【学部卒業生】 719名

【大学院修了生】 大学院(前期課程)6名



## ■経大見聞録

本学の HP に掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。

URL をクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒーブレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【3/4】インドネシア国際貢献プロジェクトがインドネシアへ出発しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008683.html>

【3/5】大学間連携共同教育推進事業 リーダーシップ・チャレンジ in サイパンが開催されました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008687.html>

【3/9】本の世界に触れようプロジェクトが東広島市立川上小学校の児童を対象にイベントを開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008692.html>

【3/11】東北支援プロジェクトが東日本大震災の発生時刻に黙とうを行いました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008696.html>

【3/12】中高生の夢・笑顔実現プロジェクトが不登校生支援「ガラスの里へ GO!」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008698.html>

【3/13】カンボジア国際交流プロジェクトがカンボジアに向けて出発しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008704.html>

【3/16】食育推進プロジェクトが広島市主催「食育プロジェクトポスターセッション」に参加しました

■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構です。すでにご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構です。寄稿頂ける方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

---

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までどうぞ。

**HUE 広島経済大学**  
**CAREER UP PROGRAM**